

日西学長会議の開催について（案）

2013年、日西交流400周年事業として開催された日西学長会議では、更なる日西大学間の協力関係深化を目指していくことが示された。先の学長会議から5年が経ち、日西大学間交流の活性化、また、2018年、日西外交関係樹立150周年事業の一環として、以下の内容で日西学長会議を開催することを提案したい。

1 趣旨

日西外交関係樹立150周年を機に、日西大学間交流の活性化に向け、両国の大学学長又は国際担当副学長等が集まり、日西の大学間交流の現状及び今後の交流促進に向けた方策について議論する機会を設ける。

2 参加対象者

日西の各大学の学長又は国際担当副学長等

3 日時・場所

2018年11月（予定）

於：サラマンカ大学（2018年は同大学建学800周年。本件は同周年事業としても登録）

4 内容

- (1) 日西各国における高等教育をめぐる最近の動きについて情報共有
- (2) 大学間交流における成功例及び課題の共有
- (3) 大学の国際化における需要と供給のマッチング

5 開催形式

- 協議に参加する各大学は、事前にエントリーシートを記入。日本側とスペイン側のエントリーシートを交換し、各大学が参加大学の特色を事前に把握できるようにする。
- 日本側の各大学がスタンドを設置し、大学の広報を行う。スペイン側の大学がこれらのスタンドをまわりながら、大学間で個別に具体的な協力の可能性につき議論する。
- 在スペイン日本大使館がスペイン側幹事校のサラマンカ大学と連携し、現地のロジ関係はサポート。日本側幹事校は、サブ面において日本の参加大学を取りまとめることが期待されている。